

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン（人）と名付けました。



「 さくら総合病院 車輛課 」

- 救急指定・労災指定病院 **さくら総合病院** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-129
(0587) 95-6711 (代)
- 老人保健施設 **さくら荘** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-96
(0587) 95-6722
- 訪問看護ステーション **あすかビレッジ** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-129
(0587) 95-8623
- ヘルパーステーション **あすかビレッジ** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-129
(0587) 95-8026
- 居宅介護支援事業部 **あすかビレッジ** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-10 (太郎と花子内)
(0587) 95-8027
- デイケアセンター **御 嶽** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-129 (さくら総合病院 2F)
(0587) 95-8900
- 有料老人ホーム **太郎と花子** 愛知県丹羽郡大口町新宮 1-10
(0587) 95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail:sakura-koho@ijinkai.or.jp

ドク ター シー ズ

「消化器病センターってなあに？」

副院長 小林 豊

当院が大口外科クリニックとして開業して以来、消化器疾患は外科の一部と内科の一部として診療してきましたが、昨今の消化器疾患の診療は診断・治療法の進歩に伴い、内科・外科の境目はなくなり、以前は外科手術の適応となっていた疾患が、内科医による内視鏡治療の対象となることもあります。そんななかで内科と外科という枠は円滑な診断や治療の妨げになっており、しばしば患者さんに混乱を招くだけでなく、診断や治療までの時間や患者さんの導線に無駄を強いてきました。そこで当院では、これら消化器外科と消化器内科の診療を統合した「消化器病センター」を平成23年9月に創設しました。現在、担当医師は常勤医師4名（消化器外科医3名、消化器内科医1名）と非常勤医師（内視鏡指導医や名古屋市立大学文部教官など）で構成されており、外来看護師と4名の担当メディカルアシスタント（通称 MA）とともに業務を遂行しています。

患者さんはこれまで「お腹が痛いんだけど、内科だろうか、外科だろうか？」という迷いがありましたが、当院では消化器病センターを受診すれば、それが内科疾患だろうが外科疾患だろうが迅速に

診断と治療を進めることができます。正に内科と外科の垣根を越えたシームレスな医療を円滑に受けられる体制となっております。近隣の診療所・医院・クリニックの先生方に患者さんをご紹介頂く場合も、内科治療の適応か外科治療の適応か判断に迷うこと無く、消化器疾患であれば当センターにご紹介頂けましたら、円滑かつ迅速に診断し、的確に治療方針を定め、最先端の治療手段で治療していきます。

昨今の消化器診療には内視鏡での診断や治療は不可欠となっております。目覚ましい進歩を遂げております。消化器病センターに併設された「内視鏡診断・治療センター」では、消化器病センター外来と密な連携のもとに、消化器内視鏡診療を遂行しております。「内視鏡検査は苦痛」というイメージがありますが、当院では特に大腸内視鏡などでは「痛くない・辛くない」を目指して、積極的に鎮静剤を使用するなど、患者さんが楽に受けられる検査を行っております。内視鏡診断も通常の観察だけでなく、がんの早期発見、病変の悪性度や範囲診断などを目的に、がんの栄養補給路である粘膜表層の毛細血管や粘膜微細模様などを、色調の違い

でなく、がんの早期発見、病変の悪性度や範囲診断などを目的に、がんの栄養補給路である粘膜表層の毛細血管や粘膜微細模様などを、色調の違いとして強調表示する特殊な観察（狭帯域光観察：NBI）ができ、早期がんの発見だけでなく見落としを防ぐためにも不可欠となっております。このような最新の診断技術で早期がんを発見・診断し、内視鏡治療の適応であれば手術を回避した内視鏡による低侵襲治療（内視鏡的粘膜切除術：EMR や内視鏡的粘膜下層剝離術：ESD）を受けることができます。消化管疾患のみならず肝胆膵疾患の診断と治療も内視鏡の担う役割は近年飛躍的に伸びました。腫瘍や結石による腹痛や黄疸の患者さんにより確実な診断や、より低侵襲な治療を提供します。当院内視鏡診断・治療センターでは年間 2200 件に及ぶ内視鏡検査・治療を行っており、内、内視鏡治療だけで 200 件近く行っております。

消化器外科手術は、昨今の手術の低侵襲化を推進して各種腹腔鏡手術を行っております。しかしながら、がん診療において、最も重要なのがんの根治であるため、むやみに腹腔鏡手術にするのではなく、十分な検討の下に適否を定め、必要に応じて開腹による最良のがん手術を進めております。全ての手術は国立がん研究センター中央病院（東京築地）で修練を積んだ医師による supervise を徹底しており、最良にして最高のがん手術を

提供しています。直腸がんの手術では、肛門からすぐの場所にあるものでも肛門温存の手術ができます。この手術は近隣の公的病院でもできる医師はいません。当院ではできない消化器手術はない！のです。

検査から手術に至るまでも最短日数で行うようにしており、患者さんの検査待ち・結果待ち・手術待ちの間のストレスを最小限にするべく、各部署との円滑な連携の下に迅速に診療をしております。ほとんどの検査で即日検査が可能となっており、通院回数も最小限にすることにより、最速の診断と手術を実現しております。「お腹が痛い」「便秘だ」「下痢だ」「吐き気がある」「便に血が混じる」「お腹が張る」「食欲がない」「体重が減った」「ずっと検査を受けたことがない」「癌が心配」などの人は一度訪れてみてはいかがでしょうか？



ナーズ物語

「笑う門には福きたる」

看護部管理室

ストレスの多い世の中ですが、みなさんは最近笑っていますか？

「笑い」は「副作用のない最良の薬」と言われています。又、「笑う門には福きたる」という言葉があります。この言葉は日本で古来より言われています。明るくニコニコしている人には、自然と幸福が舞い込んでくる、という意味です。

近年、さまざまな研究によって笑いが健康に好影響を与えることが明らかになってきています。笑うことで、病気の治療に好影響を与えることを世界に知らしめたのは、米国の署名な評論誌の元編集長のノーマン・カズンズさんです。彼は、1964年に強直性脊椎炎という難病にかかり、激しい痛みで全く動けなくなりました。医師からは、治る確率は500分の1だと言われたそうです。

しかし、彼はあきらめず、前向きな感情を持てば免疫力が高まるのではないかと考え、ユーモア本や喜劇映画を見て、大笑いをして過ごしました。すると、痛みが和らぎ、やがて、難病を克服してしまっただけです。これが契機となり、米国では多くの病院が笑いを取り入れているようです。

最近では、健康によいとされるヨガの中に、ラフターヨガ(笑いヨガ)というものがあります。ラフターヨガとはインドの医師によって考案されたヨガで、言葉のとおり、笑いにヨガの要素をミックスした笑い動作に取り入れたヨガです。アメリカやヨーロッパなど世界各国に広まり、世界中にラフターヨガを指導するクラブがあるそうです。笑うという動作が健康に与える影響について証明されてきているので、このラフターヨガが新しい健康法として、注目されています。

日本でも「笑い筋体操」の教室が開かれています(NPO法人笑い筋体操ハッピーネット)。ストレスの多い現代人は笑うことが下手と言われています。表情筋をほぐすストレッチ運動をすることで顔の筋肉がほぐれるというものです。

運動をしないと笑えないというのも寂しいことですが、自然に笑える自分でいたいものですね。

医療技術ニュース

「健康指導でダイエット」

栄養科 藤川 奈々

みなさんはダイエットをした経験はありますか？食事を量を減らす、1日2食にする、夜8時以降は食べない、炭水化物を抜く、バナナ・りんごダイエットなどダイエット方法は人それぞれだと思えます。これらのダイエット法、体重が減ることもありますが健康的な痩せ方とは言えません。目標体重となり食事内容を元に戻すことでリバウンドをすることもありますし、偏った食事内容により栄養バランスが乱れ、様々な疾患に罹りやすくなります。そこで、今回は健康的に痩せる食生活を紹介します。①3食しっかり食べる：食事の回数を減らすことで代謝の低下を招き、逆に太りやすくなると言われています。特に、朝食は時間がなく欠食しがちですが、1日のエネルギー源となる重要な食事です。食べる習慣を身につけましょう。②野菜を毎食摂取する：野菜にはビタミン・ミネラル・食物繊維など不足しがちな栄養を豊富に含んでおり、ダイエットに効果的で病気の予防など健康にも欠かせない食材です。野菜摂取において注意してほしいことは、野菜摂取を野菜ジュースに頼らないことです。様々な製造工程を経て作られているため、栄養素は減っており、野菜・果物の甘味により血糖値に影響が出ることもあります。不足した分を補う目的として利用するようにしましょう。③食生活の乱れの改善：暴飲暴食を抑える、和食中心の食生活にすることで栄養バランスの乱れが改善され、体重減少に繋がります。特に、現代の食生活は欧米化しており、脂質・タンパク質の比率が高い食生活となっているため普通の食生活でも太りやすくなっていると言われています。

健康的に痩せるためには1ヶ月に1～2kgの減量を目安としますが、体重1kg減らすためには約7000kcal減らす必要があります。上記3点のポイントだけでなく、適度に運動も取り入れ、太りにくい身体づくりを心がけてください。

職場紹介コーナー

「車輛課」



私たち車輛課は、常勤職員 14 名と非常勤職員 4 名で、送迎を行っています。主な業務内容は、デイケア利用者さん「御嶽」「さくら荘」の送迎、外来患者さんや施設利用者さん「太郎と花子」「さくら荘」の透析・外来受診・リハビリ等の送迎、職員送迎など、運転に関わる業務に携わっています。また、急な転院等の救急車の運転も対応しています。

車輛課の一日は、朝出発前の車輛点検から始まり、常に安全に運行する為、車輛の状態を念入りにチェックします。

患者さんの送迎で、特に気をつけている点は第一に安全運転と、乗降する際に転倒しないよう、隣に付き添い、踏み台を出して乗り降りしやすいようにしています。そして、そのときの道路状況を判断しながら、正確な時間で運行できるように心がけています。

患者さんから「送迎してもらえるので、すごく助かります。」「送迎があるのでこの病院に来られます。」とありがたいお言葉を頂いた時には、この仕事にすごくやりがいを感じます。

男性のみの職場ですが、バイタリティあふれる車輛課の機動力に、今後とも期待して頂きたいと思います。そして今月、マイクロバスの導入で新たに、江南駅まで送迎を拡張します。今後も患者さん・利用者さんの交通機関としてお役に立てるよう、努力していきたいと思います。

今日も無事故宣言！！安全運転で行ってきます。



患者さんの声

5月末にリハビリ目的で入院後、現在は病院の車両を利用して通院しています。

以前、同じように他院でリハビリ通院していましたが、家族の車や公共車両を利用していたのは、やはり中途半端で治療を終了してしまいました。

さくら総合病院の車両課の方は、いつも笑顔で家族でも気づかない心配りをしてくれます。

車を降りる時、足台をさっと出してくれたり、車両の到着する時間にいないと心配をして声をかけてくれたりします

家族だけでは、根気よく通院することは出来ないといつも感謝しています。今では、さくら総合病院でリハビリ以外、内科や口腔外科など受診するようにしています。ご近所方にもさくら総合病院は親切な病院だと宣伝しています。(笑)

犬山市在住 70代 女性 さくら総合病院のファンになった患者より

情報ステーション

<第7回 さくら総合病院 市民公開講座>

日時：平成26年5月10日（土） 13時受付開始 14時講演開始

参加費無料・事前申込不要 ※手話の同時通訳があります。

場所：大口町民会館2階

演題：開会の挨拶……………院長 小林勝正

糖尿病と透析……………看護師 小出啓子

メディカルアシスタントをご存じですか？…メディカルアシスタント 鶴見麦子

痛みの治療について……………麻酔科 和田直樹

閉会の挨拶……………副院長 小林 豊

併設催物：13時からご利用できます。

血糖・血圧測定コーナー、栄養相談コーナー、介護相談コーナー、心理相談コーナー



▲市民公開講座

<第32回健康を守る教室>

日時：平成26年4月26日（土） 13時から14時

場所：コンドル館1階ロビー

参加費：無料

講師：リハビリテーション科 上総直樹

テーマ：「運動のススメ&セラバンドを使用した体操」



▲健康を守る教室

<院内コンサート>

日時：平成26年5月16日（金） コンドル館中庭にて

演奏：弦楽四重奏「サラ」

参加費：無料



▲サラ

イベント食

療養病棟・回復期病棟に入院中の患者さんを対象にイベント食を実施しています。



あっさりとおくよかな鯛のだしをお米にぎっしり詰め込んだ「鯛めし定食」を企画致しました。

献立：鯛めし、茶そば、牛肉の野菜巻き、いんげんの梅肉和え、炊き合わせ、あんみつ

日時：5月8日（木） 12：30～コンドル館1階・2階

5月9日（金） 12：30～コンドル館4階

金額：お一人様 ¥900（税込）

申し込み〆切日：平成26年4月30日（水）

案内状・申し込み用紙は診療費の請求書に同封します。

※献立内容・金額：一部変更になることがあります

頭の体操???

2枚の写真には違いが7個あります。探してみましよう！答えは8ページへ。



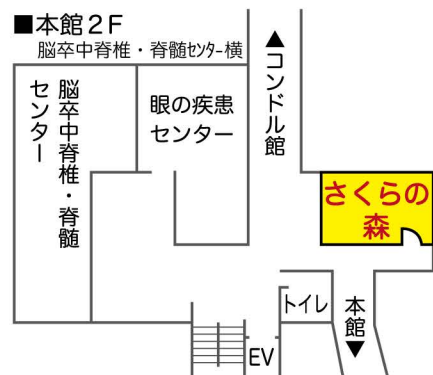
さくらの森通信

さくらの森は、患者さんご自身が病気や治療法などについて、学び調べ、理解を深めるためのお手伝いをすることを目的として設立された図書室です。

<利用時間>月曜日から金曜日

9時～12時、13時～17時

(土曜日、日曜日、祝日はお休み)



図書紹介



タイトル：なにをどれだけ食べたらいいの？

監修：香川 芳子

女子栄養大学が提唱するバランスのとれた食事法(四群点数法)を、わかりやすくまとめてあります。1日20点(1600kcal ※1点=80kcal)を基本とし、どんな食べ方・献立例が考えられるかを紹介。1日20点は、ダイエットしたい人にも適するエネルギーです。

先月の図書貸出ランキング

1位

【神様のカルテ】
著者：夏川 草介
一見風変わりだが心優しき内科医が、真摯に“命”に向き合う姿が大きな感動を呼ぶ。

2位

【カッコウの卵は誰のもの】
著者：東野 圭吾
親子の愛情に、揺さぶりがかけられる。父には、どうしても知られたくない秘密があった。

3位

【信長は本当に天才だったのか】
著者：工藤 健策
日本史上に輝く、軍事・政治の「天才」とされる信長。現代人の常識をくつがえす、画期的信長論。

A頭の体操答え

月、電線(左上)、さくら総合病院看板のロゴ、信号機の赤色、制限速度の標識、駐車禁止の標識(右下)、プランター(さくら総合病院看板下)

機関紙『human』No.264

発行：医療法人 医仁会 さくら総合病院 発行年月日：2014年4月
丹羽郡大口町新宮 1-129 発行部数：300部
☎ 0587(95)6711 (代表)